

ZANDEN Model 120 の展開(91) ーベーターヴェンを聴き直す(26)ー

1. 始めに

前報(90)に引き続き、これまで聴いてきたベーターヴェンの盤を聴き直していきます。

2. Model 120 設定条件の試聴方法

カートリッジは、My Sonic Signature Gold で、接続に関しては、ZANDEN Model 120 の活用(33)同様、下記のとおりとします。すなわち、アンバランス/バランス変換プラグを用いて BACU-2000 経由で Model120 にバランス入力し、アンプは Langivin 6V6pp を使用しています。

今回も P&G のフェーダーに替えてパッシブアテネーターの TruPhase を使用し、RCA 入力→RCA 出力とします。なお、AACU-1000 は TruPhase の入力側と出力側にセットします。

LINN LP-12→(フォノケーブル)→(アンバランス/バランス変換プラグ)→(BACU-2000) →Model120(バランス入力端子→アンバランス出力端子)→(アンバランスケーブル)→(AACU-1000)→TruPhase→(AACU-1000)→(アンバランスケーブル)→Langevin 6V6pp

なお、LINN LP-12 の再構成(22)で報告しましたように LP-12 の電源を交換し、外付けとしています。また、LP-12 の軸受けをカルーセルに更新しています。

また、今回から TruPhase のヴォリュームに、[ヴォリュームアキュライザーの導入\(2\)](#)で報告したヴォリュームアキュライザーVRA-7 を適用しています。

音源としては、これまで聴いてきたベーターヴェンの盤から選んでいきます。

今回は、ベーターヴェンの交響曲第 5 番と第 4 番を選定しました。

RCA Victorola VICS-1103

交響曲第 5 番ハ短調作品 67 「運命」

エグモント序曲作品 84

ピエール・モントー指揮ロンドンシンフォニー

fontana fcm-2

交響曲第 5 番ハ短調作品 67 「運命」

ウイレム・メンベルベルク指揮コンサートヘボウ

これらは、下記で聴いています。

[アナログ再構成後の活用\(44\)](#)

アナログ再構成後の活用(45)

3. Model 120 設定条件の試聴結果

Model 120 の設定は、ZANDEN 社から提供されたリストを参考にして選択していきます。

モントー盤は、EMI、逆相、第 4 時定数 Low で聴いていきます。

運命は以前の印象とは随分違い、歯切れよく押し出しのよい音に変わっており、モントーは、表情豊かに音楽を構成しています。

エグモント序曲も、劇場音楽を盛り上げるようなわくわく感のある演奏です。

メンベルベルク盤は、古いライブ演奏のモノラル盤で、EMI、逆相、第 4 時定数 Low で聴いていきます。

この盤は、古い録音ながら、オーソドックスで構成のしっかりした演奏であることが分ります。そして終盤にかけての力強い盛り上がりもしっかり再生されていきます。

4. まとめ

これまでの試聴同様、前報(24)で報告しましたように ZANDEN Model 120 の導入、さらに、VRA-7 の効果も加わって、上記の曲の演奏のニュアンスがよく表現できるようになりました。

以上